

# 中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-E10

申請日	2021/12/2	承認日	2021/12/13	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日		承認者	印

FP+Pembrolizumab 療法	病名	食道癌	外科	提出医	Dr
<b>対象</b>	切除不能な進行・再発食道癌の一次治療				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)													
			1	5	10	15	20	25	30							
ペムブロリズマブ(キイトルーダ)	200mg/body	div	○													
シスプラチン	80mg/m <sup>2</sup>	div	○													
フルオロウラシル	800mg/m <sup>2</sup> /day	持続点滴	○	○	○	○	○									
投与間隔・休薬期間等:			21日=1コース 6コースまで その後、【S-E11】5-FU+Pembrolizumabへ移行する													

【投与処方例(前投薬など)】必ず、CVポート・ルートを留置。末梢からの点滴禁止！

\*腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、シスプラチンの投与量を変更すること

Ccr46~60mL/min 75%Dose

Ccr31~45mL/min 50%Dose

Ccr30以下は禁忌。

Day1~5は、体重測定を実施。開始時より1日で0.5kg増加した際は、医師に連絡。必要に応じて検査、利尿剤を追加。

腎機能の評価のためにDay1以外にDay4、8に血液検査を実施し、必要に応じてハイドレーションを追加(採血は主治医判断)

※キイトルーダとシスプラチン投与時は、フルオロウラシルは止め、終了後再開する。

※フルオロウラシル24時間持続点滴について・・・ポンプの流量誤差を考慮し、適宜速度を調整する

### Y側管【水色】 day1～5

- ① Y側管【水色】生理食塩水液1000mL＋フルオロウラシル /div (24時間持続点滴)

### 側管 day1

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液500mL / div 3時間
- ③ メイン【赤-2】生理食塩液100mL＋キイトルーダ /div 0.5時間
- ④ メイン【白-1】生理食塩液100mL＋アロカリス1V＋パロノセトロン1V＋デキサート12mg /div 30分
- ⑤ メイン【白-2】生理食塩液50mL / 5分
- ⑥ メイン【白-3】ソリタT1 500mL＋硫酸マグネシウム8mL(=8mEq) /div 1時間
- ⑦ メイン【白-4】マンニトールS注射液 300mL /div 全開(15分)
- ⑧ メイン【白-5】生理食塩液500mL＋シスプラチン /div 2時間
- ⑨ メイン【黄-1】ラクテック500mL / div 3時間
- ⑩ 【コネクタ1】プリンペラン注射液10mg /iv 5分
- ⑪ メイン【黄-2】ラクテック500mL / div 3時間

### メイン day2.3.4

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液100mL＋デキサート8mg＋プリンペラン10mg /div 0.5時間
- ③ メイン【赤-2】ラクテック500mL /div 3時間
- ④ メイン【赤-3】ヴィーンD 500mL / div 3時間
- ⑤ 【コネクタ1】プリンペラン注射液10mg /iv 5分
- ⑥ メイン【赤-4】ラクテック500mL / div 3時間

### メイン day5

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ②       メイン【赤】ラクテック500mL /div 3時間
- ③       【コネクタ1】プリンペラン注射液10mg /iv 5分

#### 制吐剤セット処方⑥

DMがない場合

Day1～4 オランザピン5mg 1錠(分1 夕食後)

DMがある場合はオランザピン禁忌、下記の代替薬

Day1～4 ワイパックス0.5mg 2錠(分2 朝・夕食後)

コントミン12.5mg 1錠(吃逆時) 10回分 1日3回内服可

参考資料:KEYNOTE-590試験

当院患者治療目的以外は  
使用不可